



だんだんよく見えてきた

校長 藤森克彦

我が家の近くに江戸川が流れており、江戸川の土手にはサイクリングコース兼遊歩道があります。たまに休みの日になるとその土手をジョギングしていますが、そのコース沿いにしやれた個人の一軒家が建っています。その家は2階部分に窓ガラス1枚分ぐらいの大きさにショーウインドーのようになっており、いつもそこに1枚の絵が飾られています。きっとその家の方が描かれた自信作なのでしょうか、明らかに土手を通る人たちに見てもらおうことを楽しんでいるようです。さすがに行ったことはありませんが、パリとかフィレンツェの雰囲気ってこんな感じなのかと想像してしまいます。

さて、先日11月14日から16日にかけて行いました展覧会ですが、当日は多くの方々に来校していただき本当にありがとうございました。特に土曜日だった16日は会場内がいっぱいになるほどでしたが、譲り合ってご鑑賞いただき感謝申し上げます。この日は6年生が「子ども学芸員」として、各学年の作品ごとに分担して、来校された大人に対して説明する活動を行いました。保護者・地域の方から6年生に声をかけていただく方もいらっしや、子どもたちの自信と励みになったことと思います。

私も会場に行って何人かの6年生から説明を受けましたが、どの6年生からも「この中でどの作品がお気に入りですか」という質問を受けました。それは、今回の「子ども学芸員」は、一方的に説明をして聞いてもらうだけでなくできるだけその方々とコミュニケーションをとろう、できれば自分の感じたことをストレートに伝えてみようという趣旨で考えたものでした。

5年生の平面作品「大一木」は、各自が校庭にある大木を選び自分の発想で描くという作品でしたが、その担当の6年生に、自分が気に入った「大一木」を教えてもらいました。正直、それは私の目に留まる作品ではありませんでしたが、選んだ理由が枝ぶりがすごく気に入っているとの話を聞いているうちに、私もその作品がだんだんよく見えてきました。私も第一印象としていいなと思ったものを聞かれたので、その作品を伝えたら、その6年生も私と同じように「だんだんよく見えてきた」と言いながら、思わず互いに顔を見合わせてしまいました。時間を空けて再び見に行くと「やっぱりこれだな」と思ってしまう、なんだが不思議な感じがしました。(それは、我が子の作品を見るときも同じようなことかもしれません)

終わったあとに書いていた6年生の感想の中には、子ども学芸員は緊張したけれど互いに気に入った作品を前にして感想を言い合ったり、その作品を制作した友達が苦勞していたところとか、「実は…」といった話までできたりして本当に楽しかったなどの内容もあり、単なる鑑賞だけの活動では得られないものを体験していたのではないのでしょうか。

前回の学校だよりも触れましたが、学年・学級づくりをしていく上で大事なことは、自分自身の努力や伸長だけではなく、他者とも真剣に向き合い、お互いが大切にしているものを尊重しながら目標に向かって協力していくことです。つまり、「みんなが自分をちゃんと見てくれている。そのことが自分にもわかってうれしい。自分のいいところを知って自信がついた。どの人にもよさがある、その集まりがうちの学年・学級だと思う」ということになるのでしょうか。作品そのものの表現力以上に、相手を思う気持ちや人の心を感じとる力も含め、集団の中で互いに生きていくために必要な感性やコミュニケーション力も育てていくこと、それが学校で行う展覧会のよさではないかと改めて思いました。

そう考えると、我が舎の芸術の杜は、パリやフィレンツェの雰囲気を超えているかもしれません。

むかしあそび

1年担任 宮田 崇

地域の方が1年生に昔遊びを教えにきてくださっています。けん玉・ベーゴマ・おはじき・お手玉・めんこ・コマ・あやとりなどを教えてくださっています。既にとても上手な児童もいますが、初めて体験したり知ったりすることも多く、地域の方の技や指導に目を丸くしながら、嬉しそうに取り組んでいます。「昔遊びでもそうですが、大井第一小学校の児童のみなさんは、学校の外でもたくさんの地域の方に支えられながら、見守られながら生活しているんですよ」と話をする良い機会をもつことができました。



まちたんけん ~まちが大すき たんけんたい~

2年担任 清原 睦美

2年生は、生活科で自分たちの町について学びます。自分が住む町とはいっても、知らないところも多くあります。はじめは、みんなで学区を歩き、いろいろなものを見付けました。面白い形の建物や初めて見るお店、自動販売機が多くあることにも気付きました。町のことをたくさん知って、自分の住む町に愛着をもってほしいと思います。



次のステップは、公共施設等を知ることです。町の人たちのための仕事や働く人、そしてその思いに気付くことがねらいです。4クラスのメンバーでグループを組み、グループ活動についても学びます。違う教室で学習することも新鮮です。子どもたちの違った様子が見られ、放課後担任同士様子を聞くことが楽しみです。

取材活動には、多くの学習ボランティアの方々にご協力いただきました。しっかりと発表できるようにまとめをしている最中です。発表会を楽しみにしててください。

社会科見学

3年担任 森本 睦美

11月20日(水)、3年生は、大田市場、トラクターミナル、品川防災体験館に社会科見学に行きました。大田市場では、普段自分たちが食べているものがどのように運ばれてくるのかを丁寧に教えていただきました。大田市場は平成元年に建てられ、今では野菜・果物・花の取り扱い量が日本一なのだそうです。また、トラクターミナルでは日本各地から大型トラックで運ばれてくる品物が、小さなトラックに移し替えられて都内の隅々に運ばれていく過程を見学しました。品川防災体験館では、消火器やAEDの使い方、心臓マッサージや大きな地震が起きた時の行動の仕方などを、体験を交えながら学ぶことができました。真剣な表情で、しおりいっぱいメモをとっていた子どもたち。この後まとめる新聞が楽しみです。初めてのバスでの校外学習で、乗車時のマナーも身に付けることができました。学校では体験することができない充実した1日になったことと思います。

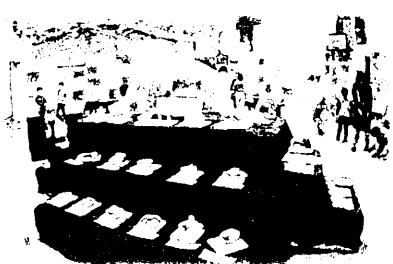


展覧会を終えて

図工専科 畦地 安美



「体育館が美術館みたい！」そう声をかけてくれる子どもたちがいました。日常とは少し違った感じに作品が展示されていて、初めての展覧会だった1、2年生の子どもたちにとっては驚いたと思います。今回の展覧会は「私を育む」がテーマでした。低、中、高それぞれの学年なりの「育む」をテーマに題材を決めて、学級で取り組みました。それぞれの子どものらしさがある素敵な作品がたくさん並んでいました。また、16日は各学年造形活動を行いました。図工の発表は、作品を前に「私は〇〇という作品を作りました。～なところを頑張りました」といったようなよくある発表をしても退屈です。作品で身を飾ったり、学芸員として来校者の方と作品について会話したり、鑑賞を深めたり、主体的に取り組む子供の姿を見ることができました。当日は晴天で、作品とともに子どもたちの顔もキラキラした素敵な一日でした。

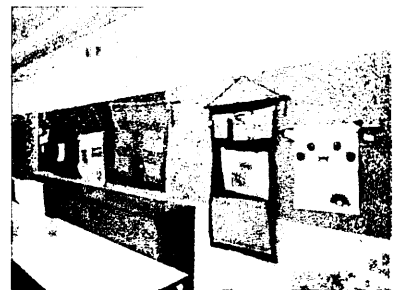


展覧会を終えて

家庭科専科 木村 ひとみ

所狭しと並べられた作品の数々、見る人を圧倒していました。

5年生は「ウォールポケット」と「フェルトペンケース（写真のみ）」、6年生は「フェルトボール」「ファスナー付きポーチ」「トートバック」「クッションカバー」を展示しました。



低学年は、お店で売っているものではなく、高学年のお兄さん・お姉さんが自分で作ったものであることにびっくり。

中学年は、「早く自分たちも家庭科をやりたーい」と大興奮でした。

何度も何度もやり直して、やっとの思いで仕上げた作品だけに、「小さい人たちの尊敬のまなざしは当然」と、子どもたちは大満足の展覧会でした。

年間重点生活目標「正しい姿勢を意識して生活しましょう！」

今月の生活目標

生活のめあて	うがいと手洗いをしましょう
保健のめあて	よい姿勢をしましょう
給食のめあて	きれいに手を洗いましょう



行事予定

資源回収	12月13日
エコキャップ回収	12月11日
校庭開放	12月 1・8・15日

日付	曜日	主な行事	日付	曜日	主な行事
1	日		17	火	伊藤学園体験授業(6年)
2	月	全校朝会	18	水	音楽鑑賞教室(1, 2年) ユニセフ募金
3	火		19	木	フレンドタイム ユニセフ募金
4	水	午前授業	20	金	フレンドまつり ユニセフ募金
5	木	昔遊び(1年) 赤ちゃんふれあい授業	21	土	
6	金	音楽朝会 家庭科昆布授業(5年)	22	日	
7	土	安全指導 区内一斉防災訓練 ドリームジョブ(5年) 音楽発表(4年)	23	月	全校朝会
8	日		24	火	社会科見学(6年) 給食終
9	月	全校朝会 煙ハウス体験(3年)	25	水	終業式 大掃除 午前授業
10	火		26	木	冬季休業日開始
11	水	家庭科塩消費者教育①(6年)	27	金	
12	木	社会科見学(5年) 家庭科塩消費者教育②(6年) 「大森貝塚博士になろう」発表会(4年)	28	土	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ユニセフ募金にご協力お願いします</p> <p>日にち: 12月18・19・20日(3日間)</p> <p>時間: 8:00~8:15</p> <p>場所: 6年生玄関</p> </div>
13	金	児童集会 フレンドタイム	29	日	
14	土	PTA親子ドッジボール大会 緑の家保育園運動会 PTA役員会・実行委員会	30	月	
15	日		31	火	
16	月	全校朝会 脊柱腕検診(5年)			

生活指導部より

生活指導部 小池 絢子

体調管理をしっかりとしよう!

だんだんと冬に近づいてきたのが感じられる季節になりました。外で遊ぶにも過ごしやすい季節で、休み時間に校庭や屋上などの外で遊ぶ子どもたちが増えたように感じます。しかし、元気な子どもたちの姿が見られる反面、体調を崩してしまうことも多い時期です。季節の変わり目になり、インフルエンザや風邪も流行ってきます。体温調節のできる服装をしたりマスクをしたりして予防をしていきましょう。また、毎日3食しっかりと食べること、十分な睡眠をとり早寝早起きを心がけることなども大切です。より健康を意識して生活するようにしましょう。

リレーコラム「かかわる、創る」

5年担任 山本 健

子どもたちが学校で学ぶことのよさは何でしょうか。情報を手に入れることが容易になった現代では、既存の知識を身に付ける方法はいろいろあります。教科書に書いてあることを知るだけでよいのなら、学校で学ぶ必要はないのかもしれませんが。

私は、学校で学習することのよさは、自分とは違う友達と集団で学ぶ点にあると考えます。友達と一緒に学習することで、自分とは異なる感性に触れることができます。自分が気が付かなかったことに気が付く友達があります。様々な考え方に会えることができます。国語で同じ文章を読んでも自分とは違う感想をもつ友達があります。算数で同じ問題を解いても自分とは違う解き方をする友達があります。理科ではみんなで考えているうちに新しい見方ができるようになります。

友達と一緒に学ぶことで、自分だけで学ぶよりも多様な経験をすることができます。他者との関わりの中で新しい知を創ることができます。そして、知を創る活動を通して他者を理解し、関わりが深まっていきます。この環流こそが学校で学ぶことのよさだと私は考えています。